

日米共同訓練の中止を要請します

防衛大臣 中谷 元 殿
百里基地司令 深澤 英一郎 殿

報道によると、防衛省は「山口県にある米軍岩国基地の第12海兵航空群が、9日から、小美玉市の百里基地で、航空自衛隊と共同訓練をする」と発表しました。米軍側はF18戦闘機5機と60人程度の要員、自衛隊側は百里第7航空団と入間基地の中部航空警戒管制団から、F15、F4戦闘機各4機、計8機程度参加するといひます。百里基地での共同訓練は2012年2月以来3年ぶり6回目です。訓練は21日(土)まで日程が組まれており、2週間の共同訓練を行うといひます。

おりしも現国会で、安倍内閣と自民・公明の与党両党が、昨年7月1日に「閣議決定」された、集団的自衛権行使容認を具体化する安保法制を押し通そうとしています。この共同訓練は、日米の「共同作戦計画」「相互協力計画」を具体化し、新たな日米防衛協力の指針＝ガイドライン策定の中で、「有事」を想定した軍事協力を一層緊密化させることが明白になっています。

さらに日米共同訓練は、アジア・太平洋に新たな軍拡と緊張をつくり出すものです。具体的に「有事」を想定し、日本を戦争に巻き込む動きにほかなりません。憲法九条に違反する行為であり、平和な日本とアジアを求める国民の声を足蹴にする行為です。

百里基地周辺の人たちは、日ごろから百里基地の戦闘機訓練に伴う騒音や事故の不安の中での生活を余儀なくされています。今回の共同訓練でさらに悪化することは火を見るより明らかです。また農業の携わる住民の方々が春の作業に入るといふ最も大切な時期に危険な演習を行うなど許されることではありません。

一方百里飛行場は問題を抱えながらも2010年に民間共用化し、茨城空港として運用されています。旅客ターミナルビルの利用もあり、これらも危険にさらします。

住民の生活を守らないでなぜ危険極まりない共同訓練などを行うのですか。中止するのが当然です。

安倍政権は、私たち多くの国民の思いとは異なる「戦争する国づくり」の方向に暴走しています。憲法を変えて軍備を増強しても、平和を守ることはできません。私たちは「戦争する国づくり」に断固反対すると同時に、それと連動した今回の日米共同訓練に強い怒りを表明し、抗議します。それは主権者である私たちの決意です。日米両政府は私たち県民の声を真摯に受け止め、日米共同訓練は絶対にやめて下さい。

2015年3月6日

百里基地反対同盟 百里平和委員会
茨城県平和委員会 新日本婦人の会茨城県本部
茨城県商工団体連合会 農民運動茨城県連合会
平和・民主・革新の日本をめざす茨城の会
日本共産党茨城県委員会